

号	発刊年月	タイトル	筆者(所属)	筆者(部署・役職)	筆者(氏名)
1	2001 9	海洋の国際ネットワークを	テクノオーシャン・ネットワーク	会長	大庭 浩
		壁を倒して、世界へ	テクノオーシャン・ネットワーク	理事長	酒匂 敏次
		テクノオーシャン・ネットワークのご紹介			
		平成13(2001)年度事業計画			
		「テクノオーシャン2002」開催のご案内			
		国際コンベンション「テクノオーシャン」開催実績			
2	2001 11	海洋科学技術センター 創立30周年を迎えて -21世紀は「地球と生命の時代」-	海洋科学技術センター	理事長	平野 拓也
		日本海洋学会 創立60周年を迎えて	日本海洋学会	会長	角皆 静男
		社団法人日本水産学会 創立70周年を迎えて	社団法人日本水産学会	会長	渡邊 武
		海洋理工学会の最近の活動と今後の方向	海洋理工学会	会長	竹内 俱佳
		トピックス:暮らしを海と世界に結ぶ「みなとづくり女性ネットワーク」	東海大学短期大学部	助教授	東 恵子
		「テクノオーシャン2002」国際シンポジウム 論文募集のご案内			
		「テクノオーシャン・ネットワーク(TON)のWebsite: www.techno-ocean.com 開設!			
3	2002 1	大庭浩会長、2001年度 MTS International Award を受賞! ～酒匂敏次、前田久明の両氏に続き、日本関係で3年連続～			
		「テクノオーシャン2002」開催に向けて -A vision of Ocean Networks-	テクノオーシャン・ネットワーク	理事長	酒匂 敏次
		OCEANS 2001、昨年11月ハワイで開催			
		日本海洋工学会の活動について	日本海洋工学会運営委員会	委員長	増田 光一
		「Ship & Ocean Newsletter」のお知らせ			
		トピックス:神戸市内の工業高生を対象に「テクノオーシャン・ユース」を開催 「テクノオーシャン2002」発表論文及び出展を募集中!			
4	2002 3	テクノオーシャン2002 ～A vision of Ocean Networks～ 国際エキジビジョン/国際シンポジウム/学術研究団体展			
		社団法人日本造船学会の活動について	日本造船学会	会長	大坪 英臣
		社団法人土木学会 海洋開発委員会の活動について	海洋開発委員会	委員長	高山 知司
		海の安全と危機管理	海上保安庁	国際・危機管理官	後藤 靖子
		関西造船協会設立90周年記念 Asia Pacific Maritime Congress 国際会議			
		2002年4月以降、国内で開催予定の主な海洋関連国際会議・展示会			
		第26回 ICHCA国際会議開催について			
5	2002 6	大手造船再編の動き ～相次ぎ分社化・事業統合へ～	日本海事新聞 Techno-Ocean News	取締役 編集委員	中地 登
		21世紀におけるわが国の海洋政策に関する提言	日本財団 海洋管理研究会		
		科学技術・学術審議会の海洋開発分科会答申(案)まとまる			
		UT(Underwater Technology)2002/PostUT2002 Workshop	東京大学生産技術研究所		
		関西造船協会創立90周年記念国際会議 アジア海事フォーラム	アジア海事フォーラム 大阪府立大学大学院	議長 教授	奥野 武俊
		【追刊】 TECHNO-OCEAN 2002 ～A Vision of Ocean Networks～ 案内			
6	2002 10	テクノオーシャン2002 いよいよ開催!			
		国際会議「人間と海 -沿岸環境の保全」を振り返って	東京大学海洋研究所 大槌臨海研究センター	教授	宮崎 信之
		「海の駅」	国土交通省	中国運輸局 海事振興部 船舶産業課長	小玉 真一
		テクノオーシャン2002 ご出展いただく企業・団体のみなさま テクノオーシャン2002 同時開催行事			

号	発刊年月	タイトル	筆者(所属)	筆者(部署・役職)	筆者(氏名)	
7	2002	11	【Techno-Ocean 2002 特集】 開催にあたって、記念講演会、国際シンポジウム、基調講演、Asia-Pacific Ocean Network Forum 初の試みで開催			
			海洋科学技術センター創立30周年記念 国際シンポジウムと海洋研究機関長会議			
			「自然エネルギーを用いた海水淡水化に関するフォーラム」－持続可能な水資源を求めて－	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター	副センター長	池上 康之
8	2003	1	Techno-Ocean 2002 開催報告			
			Asia-Pacific Ocean Network Forum、充実した内容で開催			
			青少年イベント「テクノオーシャン・ユース」			
			OCEANS'04 MTS/IEEE/TECHNO-OCEAN 2004			
			「OCEANS 2002」盛大に開催			
9	2003	4	久しぶりの神戸港	財団法人神戸港埠頭公社	理事長	橋間 元徳
			海洋空間利用技術に関する国際シンポジウム 開催報告	独立行政法人海上技術安全研究所	海洋開発研究領域長	大松 重雄
			IUGG2003開催 - State of the Planet -	IUGG2003	総務部会長 (海洋科学技術センター 深海研究部)	木下 正高
			船舶バラスト水と海洋環境問題	神戸商船大学	教授	石田 廣史
			2003年海洋関係国際会議・展示会カレンダー			
10	2003	7	商船大学の統合と今後の海洋教育	神戸商船大学	大学長	原 潔
			リサイクルポート ～港湾を核とした静脈物流システムの構築～	国土交通省	港湾局 環境整備計画室	宮崎 祥一
			水産音響技術のこれから	水産工学研究所	水産情報工学部 主任研究官	赤松 友哉
			「海フェスタ」KOBE ～海の祭典2003～ 華やかに開催される	「海フェスタ」KOBE実行委員会		
			北朝鮮工作船を東京・船の科学館で一般公開	日本財団	海洋船舶部長	山田 吉彦
11	2003	11	アンブレラ・コンファレンス	テクノオーシャン・ネットワーク	理事長	酒匂 敏次
			San Diego から Kobeへ ～OTO'04の開催に向けて～			
			アクアバイオメカニズム研究会の紹介	大阪大学大学院	工学研究科 船舶海洋工学専攻 教授	加藤 直三
12	2004	1	海にかける橋	OTO'04 Executive Committee	Chair	浦 環
			子孫に美田を残せるか	海上保安庁	海洋情報部 大陸棚調査室長	谷 伸
			科学観測用海底ケーブルネットワーク ARENA	海洋科学技術センター	海洋技術研究部 研究主幹	浅川 賢一
			大庭浩・TON会長 逝去			
13	2004	5	独立行政法人海洋研究開発機構 設立	独立行政法人海洋研究開発機構	理事長	加藤 康宏
			トピックス I : IMOバラスト水管理条約を採択 トピックス II : 日本・韓国・中国 史上空前の造船ブーム	財団法人シップ・アンド・オーシャン財団 海洋政策研究所 Techno-Ocean News	調査役 編集委員	中地 登
			2004年国内開催の主な海洋関係会議・展示会カレンダー			
			OTO'04 Advance Program 7月公開(予定)!			
14	2004	9	海洋の新時代へ	テクノオーシャン・ネットワーク OTO'04	会長 CJO会長	難波 直愛
			【OTO'04 特集】 Plenary Session、Schedule at a Glance、Exhibition 出展企画・団体のみなさま、関連行事(予定)			
15	2004	11	【OCEANS'04 MTS/IEEE TECHNO-OCEAN'04】 スケジュール一覧 Schedule at a Glance、Information on the Venue of "OTO'04" 会場案内図			

号	発刊年月	タイトル	筆者(所属)	筆者(部署・役職)	筆者(氏名)	
16	2005	1	更なる飛躍の始まりの年に	テクノオーシャン・ネットワーク	会長	難波 直愛
			将来展望の年に	テクノオーシャン・ネットワーク	理事長	酒匂 敏次
			Techno-Ocean Award 2004 最初の授賞者はJoseph R. Vadus氏に			
			OTO'04の開催を終えて			
			OTO'04開催(2004.11/9~12)主要データ			
			Techno-Ocean Award 2004 CITATION		Recipient	Joseph R. Vadus
			テクノオーシャン・ネットワーク新たに3名の理事が就任 テクノオーシャン・ユース2004開催報告			
17	2005	4	スマトラ沖地震による津波について	東北大学大学院	工学研究科 教授 工学研究科 附属災害制御研究センター長	今村 文彦
			地球温暖化対策に関係する海洋の役割	国立環境研究所 地球温暖化研究プロジェクト	総合研究官	野尻 幸宏
			供給過剰がもたらした新たなクルーズ海域開拓 - 欧米クルーズ業界の最近の動向 -	日本海事新聞社		沖田 一弘
			造船関連三学協会の統合について(日本船舶海洋工学会)	関西造船協会 日本船舶海洋工学会	会長 会長(予定)	内藤 林
18	2005	7	竹島問題雑感	神戸大学大学院	法科学研究科 教授	坂元 茂樹
			日本の200海里水域を体積で見なおす	独立行政法人海上技術安全研究所	海洋開発研究領域 研究員	松沢 孝俊
			日本郵船が「トール・ハイエルダール国際環境賞」を受賞			
			OCEANS'05 EUROPE報告	東京大学生産技術研究所 海中工学研究センター	学術研究支援員	杉松 治美
19	2005	10	地球深部探査船「ちきゅう」の運用始まる!	独立行政法人海洋研究開発機構 地球深部探査センター	副センター長	堀田 平
			神戸大学内海域環境教育研究センター トピックス:沿岸生物の大陸間越境移動	神戸大学 内海域環境教育研究センター 神戸大学	センター長 教授	川井 浩史
			バラスト水処理システム承認ガイドラインの採択/環境先進国を目指すわが国の開発状況	社団法人日本海難防止協会	海洋汚染防止研究部長	菊池 武晃
			OCEANS'2005 Washington DC 報告	大阪大学大学院	工学研究科 助教授	高木 健
20	2006	1	「海洋技術フォーラム」の紹介	東京大学大学院	新領域創成科学研究科 環境学専攻 教授	佐藤 徹
			「都市型塩性湿地研究会」の取り組み ~大阪湾における港湾海域の水質一斉調査~	大阪市立大学大学院	工学研究科 助教授	重松 孝昌
			テクノオーシャン・ユース2005開催報告 テクノオーシャン2006/第19回海洋工学シンポジウム 展示会出展受付中!!/論文アブストラクトまもなく募集開始!!			
21	2006	8	【テクノオーシャン20周年記念】			
22			地球深部探査船「ちきゅう」見学学習会と講演会			
			「ちきゅう」船内探索記	兵庫県立大学附属高等学校	2年生	松野 晃士
			今、学校で海はどのように教えられているか	北海道大学 日本海洋学会教育問題研究部	名誉教授 会長	角皆 静男
			我が国海事社会が抱える諸課題と神戸大学海事科学研究科としての取り組み	神戸大学	海事科学部 部長	久保 雅義
			近く開催される主な海洋関係会議・講演会カレンダー			
			テクノオーシャン2006/第19回海洋工学シンポジウム			
			海洋生物のセンサス(個体数調査)(GENSUS OF MARINE LIFE)	京都大学 京都大学 フィールド科学教育研究センター	教授 瀬戸臨海実験所長	白山 義久
			IMPACT(海洋の大規模利用に対する包括的環境影響評価)セッション	大阪府立大学大学院	工学研究科 助教授	大塚 耕司
			Conference Event: 第1回 水中ロボットフェスティバル			
			23	2006	10	Techno-Ocean 2006/19th JASNAOE Ocean Engineering Symposium
Techno-Ocean Award 受賞者: 北海道大学 教授 若土正暁氏)						
【Techno-Ocean 2006/19th JASNAOE Ocean Engineering Symposium】 Poster Session: Category別 Core Time 一覧表 Engineering Symposium プログラム						

号	発刊年月	タイトル	筆者(所属)	筆者(部署・役職)	筆者(氏名)	
24	2007	1	風雲急を告げる海底熱水鉱床開発 -Nautilus社の集めた130億円で何が出来るか-	産業技術総合研究所	地質情報研究部門	山崎 哲生
			「海洋基本法」の制定を目指して	社団法人海洋産業研究会 テクノオーシャン・ネットワーク	常務理事 理事	中原 裕幸
			テクノオーシャン2006/第19回海洋工学シンポジウム(2006.10.18~20)開催結果報告			
25	2007	4	トピックス:海洋基本法が成立			
			海事クラスターによる国際都市「神戸」の再生を	海洋政策研究財団	調査役	中地 登
			「しんかい6500」1000回潜航達成	独立行政法人海洋研究開発機構		高川 真一
			今年予定の主な海洋関係会議・講演会・イベント			
26	2007	7	世界的な水産物需要の増大と日本の「買い負け」 -水産物奪い合いの時代へ-	水産庁	企画課 課長補佐	平野 智巳
			開催のお知らせ:OCEANS'08 MTS/IEEE KOBE-TECHNO-OCEAN'08			
			OCEANS'07 Aberdeen 参加報告	大阪大学大学院	工学研究科 准教授	高木 健
27	2007	11	海洋技術フォーラムシンポジウム「海を拓く、海洋立国に向けたロードマップの提言」開催報告	東京大学大学院 独立行政法人海上技術安全研究所	新領域創成科学研究科 教授 研究連携統括副主幹	佐藤 徹 小田野 直光
			インドにおける海洋深層水を用いた海水淡水化プロジェクトの現状と展望	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター	准教授	池上 康之
			OCEANS 2007 Vancouver 報告	MTS 日本支部	Secretary	中原 裕幸
28	2008	2	海洋基本計画の策定に向けて	内閣官房	総合海洋政策本部 事務局長	大庭 靖雄
			「海洋基本法」関係日誌			
			海洋基本計画、パブリック・コメントへ	社団法人海洋産業研究会 テクノオーシャン・ネットワーク	常務理事 理事	中原 裕幸
			「海洋基本計画(原案)」目次			
			OCEANS'08 MTS/IEEE KOBE-TECHNO-OCEAN'08 ゲストにOffice of Naval Reserch, NOAAから2氏を招聘			
			テクノオーシャン・ユース2007開催報告			
			「第20回海洋工学シンポジウム」 -日本の海洋ストラテジー-	第20回海洋工学シンポジウム実行委員会		
29	2008	4	ようこそ神戸へ!	OCEANS'08 MTS/IEEE KOBE-TECHNO-OCEAN'08	Executive Committee Chair	高木 健
			【OCEANS'08 MTS/IEEE KOBE-TECHNO-OCEAN'08】 Program, Schedule-at-a-glance			
30	2008	7	世界をリードする海洋大国へ! -テクノオーシャン・ネットワーク名誉顧問就任挨拶-		衆議院議員	河本 三郎
			Techno-Ocean Awardを受賞して	東京大学大学院 独立行政法人海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター	理学系研究科 教授 気候変動予測プログラムディレクター	山形 俊男
			海洋新時代における海洋新産業の振興に向けて -海底熱水鉱床が最初のターゲット-	大阪府立大学	教授	山崎 哲生
			OCEANS'08 MTS/IEEE KOBE-TECHNO-OCEAN'08(略称:OTO'08)開催結果報告			
31	2008	10	持続的な漁業には抜本的な構造改革が必要	三重大学	生物資源学部 准教授	勝川 俊雄
			水産庁における燃油高騰対策について	水産庁	水産経営課 燃油高騰対策推進プロジェクトチーム 室 室長補佐	原口 大志
			OCEANS'08 QUEBEC 参加報告	日本電気株式会社	電波応用事業部 海洋システム部	山口 功
32	2009	1	海洋開発特別講演会について	社団法人土木学会 室蘭工業大学	海洋開発委員会 改革小委員会 建設システム工学科 教授	木村 克俊
			テクノオーシャン・ユース2008 「海の生物との出会い」実施報告	テクノオーシャン・ネットワーク 神戸大学	理事 海事科学部 教授	西尾 茂
			水中ロボコン in 辰巳 '08	水中ロボコン in 辰巳 '08 東京海洋大学	実行委員長 海洋工学部 准教授	近藤 逸人
33	2009	4	ベトナム・ハロン湾での環境改善草の根プロジェクト	大阪府立大学大学院	工学研究科 教授	大塚 耕司
			海洋研究開発機構の新中期目標、中期計画について	独立行政法人海洋研究開発機構	経営企画室長	板倉 周一郎
			テクノオーシャン・ユース2008 地球深部探査船「ちきゅう」特別見学会 実施報告	テクノオーシャン・ネットワーク事務局		

号	発刊年月	タイトル	筆者(所属)	筆者(部署・役職)	筆者(氏名)	
34	2009	7	日仏海洋学会: Techno-Oceanの共催に向けて	日仏海洋学会 独立行政法人海洋研究開発機構	会長 理事	今脇 資郎
			「国際みなとまち大学リーグ」国際セミナーの開催	横浜国立大学	国際社会科学部 教授	池田 龍彦
			函館国際水産・海洋都市構想	函館国際水産・海洋都市推進機構	機構長	伏谷 伸宏
			第3回水中ロボットフェスティバル開催報告	水中ロボフェス実行委員会 大阪府立大学	幹事 准教授	有馬 正和
35	2009	11	大阪湾沿岸域水環境の再生と新たな創出 ～大阪的文化からのアプローチ～	瀬戸内海研究会議 大阪大学大学院	運営委員長 工学部 教授	中辻 啓二
			長崎県におけるマグロ養殖の振興について	長崎県	水産部 水産振興課 課長補佐	吉田 誠
			2009年度「研究船で海を学ぼう」実施報告	調査船を利用した海洋科学体験研修実行委員会 東海大学	委員 海洋学部 教授	加藤 義久
			Oceans'09 Biloxi に参加して	東京大学生産技術研究所	特任教授	高川 真一
36	2010	1	海洋技術フォーラム特別シンポジウム報告	東京大学大学院	新領域創成科学研究科 教授	高木 健
			平塚沖総合実験タワーを東京大学が取得	東京大学海洋アライアンス連携研究機構 東京大学生産技術研究所	機構長 教授	浦 環
			テクノオーシャン・ユース2009 開催報告			
			Techno-Ocean 2010 論文申込受付開始!			
37	2010	4	「排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律案」について	内閣官房	総合海洋政策本部 事務局長	井手 憲文
			海洋資源・産業ラウンドテーブルの設立について	海洋資源・ラウンドテーブル 社団法人海洋産業研究会	幹事・事務局長 乗務理事	中原 裕幸
			深海底鉱物資源の探査技術開発への取り組み	東京大学大学院	理学系研究科 教授	浦辺 徹郎
			2010 Ocean Sciences Meeting	大阪府立大学大学院	工学部 教授	山崎 哲生
38	2010	7	東京都の大島沖波力発電に向けて	東京都	環境局都市地球環境部 課長補佐 (再生可能エネルギー担当)	谷口 信雄
			伊豆大島海洋深層水実験施設	東京大学大学院	工学部 特任教授	大内 一之
			再生可能エネルギー2010 国際会議 (RENEWABLE ENERGY 2010) 及び海洋エネルギー資源国際フォーラムの報告 - 海洋エネルギービジネス協議会設立 -	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター	准教授	池上 康之
			Techno-Ocean 2010 What's new?			
39	2010	10	【Techno-Ocean 2010 特集】 Invitation、Keynote Lecture、Program at a Glance、Exhibition 関連行事			
40	2011	1	新会長 就任ご挨拶	社団法人日本経済団体連合会	海洋開発推進委員会 委員長	元山 登雄
			浦環 理事長 「IEEE/OES Distinguished Technical Achievement Award」受賞			
			海洋資源エネルギー研究開発の新時代	独立行政法人海洋研究開発機構	理事	平 朝彦
			2010年 テクノオーシャン・ネットワーク 表彰 独立行政法人港湾空港技術研究所 研究主幹 高橋重雄氏 東京大学生産技術研究所 特任准教授 福場辰洋氏			
			Techno-Ocean 2010 開催報告 難波直愛 前会長 追悼			
41	2011	4	閉鎖性内湾環境のパラダイム転換「メタボな海とやせた海」	近畿大学	農学部 水産学科 講師 兵庫県漁業協同組合連合会 環境アドバイザー	中西 敬
			次世代エコシップのコンセプト・デザイン	大阪府立大学大学院	海洋システム工学分野 教授	池田 良穂
			東京海洋大学海洋工学部 先端ナビゲートシステムの紹介	東京海洋大学	海洋工学部 准教授	庄司 るり
			～小さなことでもできることをやればよい。それが集まれば大きな力になる～ 「東日本大震災支援基金」への寄付 案内	日本財団 ROAD プロジェクト		

号	発刊年月	タイトル	筆者(所属)	筆者(部署・役職)	筆者(氏名)
42	2011 9	徳島市立津田中学校における防災教育の取り組み	徳島大学大学院	先端技術科学教育部 社会リスク工学研究室	井若 和久
		東日本大震災による漁船被害と再建の現状	社団法人海洋水産システム協会	会長	藤田 純一
		お知らせ: シンポジウム:大地震・大津波に備えて ~海からの視点で考える~ 第4回水中ロボットフェスティバル Techno-Ocean 2012 開催時期決定!			
43	2011 10	急がれる東日本大震災からの水産復興! -冬の到来の前に- part 1	東京海洋大学大学院	海洋科学技術研究科 海洋管理政策学専攻 教授	末永 芳美
		アクアマリンふくしまの復興について	アクアマリンふくしま	獣医師 地域交流課 課長補佐	富原 聖一
		COASTAL STRUCTURES 2011 開催について	独立行政法人港湾空港技術研究所 CSt2011 事務局	海洋研究領域長	下迫 健一郎
		OCEANS'11 Kona (2011.9.19-22)の概要報告	テクノオーシャン・ネットワーク MTS日本支部	理事 セクレタリ	中原 裕幸
44	2012 1	室戸ジオパークが世界ジオパークに認定された意味	室戸ジオパーク推進協議会	地質専門員	柴田 伊廣
		シンポジウム:大地震・大津波に備えて ~海からの視点で考える~ 開催報告	大阪府立大学大学院 震災に関するシンポジウム実行委員会	教授 実行委員	大塚 耕司
		第4回水中ロボットフェスティバル開催報告	大阪府立大学 水中ロボフェス実行委員会	准教授 委員長	有馬 正和
		テクノオーシャン・ユース2011			
		「Techno-Ocean 2012」展示出展者募集中			
45	2012 5	「日本海溝海底地震津波観測網」について -日本海溝・千島海溝沿いに構築するリアルタイムのインライン型海底地震津波観測網-	独立行政法人防災科学技術研究所	観測・予測研究領域 地震・火山防災研究ユニット 海底地震津波観測網整備推進室長	金澤 敏彦
		東日本大震災からの水産復興 -大震災後のこの1年- part 2	東京海洋大学大学院	海洋科学技術研究科 海洋管理政策学専攻 教授	末永 芳美
		「Techno-Ocean 2012」展示出展者募集のお知らせ			
46	2012 7	洋上風力発電への期待	東京大学大学院	新領域創成科学研究科 教授	高木 健
		海洋資源調査船「白嶺」について	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	金属資源技術部 運航計画課 主任	星 康嗣
		Techno-Ocean 2012 開催最新情報			
47	2012 11	【Techno-Ocean 2012 特集】 主催者挨拶、趣旨、概要、基調講演、スケジュール、オーガナイズドセッション、展示会、Student Poster Session、水中ロボット競技会及び交流会、新発見! 海のせかい教室、海の絵画展、スタンプラリー			
48	2013 1	地球深部探査船「ちきゅう」による地球惑星科学・生命科学の挑戦	独立行政法人海洋研究開発機構	高知コア研究所・海底資源研究プロジェクト グループリーダー・上席研究員 統合国際深海掘削計画第337次研究航海 共同首席研究者	稲垣 史生
		宇宙から海洋への貢献	独立行政法人宇宙航空研究開発機構	宇宙利用ミッション本部 衛星利用推進センター ミッション企画室 主任開発員 宇宙利用ミッション本部 事業推進部 部長	松井 快 館 和夫
		2012年 テクノオーシャン・ネットワーク 表彰 東京大学生産技術研究所 教授 浅田昭氏 東京大学生産技術研究所 准教授 巻俊宏氏 北海道大学大学院 助教 亀山宗彦氏			
		Techno-Ocean2012 開催報告			
		TON会員募集中			
49	2013 4	東日本大震災からの復興を目指して 海との共生を目指した津波減災	独立行政法人港湾空港技術研究所	理事長	高橋 重雄
		世界に誇れる「美しいまち」大槌の創造を目指して ~3年目を迎えた復興まちづくりの現状と課題~	岩手県大槌町	元・副町長 (2013年4月から、岩手県商工労働観光部 科学・ものづくり振興課科学技術担当課長)	高橋 浩進
		「新青丸」命名・進水式報告	独立行政法人海洋研究開発機構	海洋工学センター長	磯崎 芳男

号	発刊年月	タイトル	筆者(所属)	筆者(部署・役職)	筆者(氏名)
50	2013 7	新たな海洋基本計画の策定	内閣官房	総合海洋政策本部 事務局長	長田 太
		東日本大震災からの水産業の復興 大震災から2年後の現状 part 3 －政策の違いから見た復旧・復興の差異－	東京海洋大学大学院	海洋科学技術研究科 統合海洋政策学講座 教授	末永 芳美
		産学官金連携による「江戸っ子1号」プロジェクト 機体・操業費ともに安価で簡便な深海探査機	東京東信用金庫 中小企業応援センター 江戸っ子1号プロジェクト推進委員会 独立行政法人海洋研究開発機構	コーディネーター 事務局 客員研究員	桂川 正巳
		TONセミナー報告 (第1回～3回)			
		Techno-Ocean 2014 開催概要決定!			
		TON会員募集中!			
51	2013 11	退任ごあいさつ	テクノオーシャン・ネットワーク	前会長	元山 登雄
		就任ごあいさつ	テクノオーシャン・ネットワーク	新会長	山内 隆司
		水産資源の持続的利用を支える魚海況モニタリング –その維持のための研究開発	独立行政法人水産総合研究センター	研究主幹	中田 薫
		OCEANS'13 MTS/IEEE San Diego 報告	東京大学生産技術研究所 海中工学国際研究センター	特任研究員	杉松 治美
		第17回海洋深層水利用学会全国大会報告	海洋深層水利用学会 大阪府立大学大学院	事務局長 教授	大塚 耕司
		Techno-Ocean 2014 出展募集開始!!			
		TON会員募集中!!			
52	2014 1	沖縄から始まる海洋温度差発電の新しい展開 –自然エネルギーにおける安定的ベース電源を目指して–	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター	副センター長	池上 康之
		テクノオーシャン・ユース 開催報告	テクノオーシャン・ネットワーク事務局		
		干潟・海浜で活躍する3人娘 “Gata Girl” について	徳島大学大学院	Gata Girl	松重 摩耶
		Techno-Ocean 2014 出展募集開始!!			
		TON会員募集中!!			
53	2014 4	Techno-Ocean 2014 開催に向けて	Techno-Ocean 2014 実行委員会	委員長	大塚 耕司
		海洋研究開発機構(JAMSTEC)の新中期目標・中期計画 －海洋・地球・生命の統合的理解をめざして－	独立行政法人海洋研究開発機構	理事長	平 朝彦
		地球と人にやさしく、自然と調和した海洋開発を目指しています －タキオニッシュホールディングス株式会社の紹介－	タキオニッシュホールディングス株式会社	神戸事務所 所長	小梨 昭一郎
		第43回日本産業技術大賞受賞のご報告 (産学官金連携による江戸っ子1号プロジェクト)			
		Techno-Ocean 2014 基調講演について			
54	2014 9	【Techno-Ocean 2014 特集】 主催者挨拶、概要、基調講演、スケジュール、オーガナイズドセッション、展示会、Student Poster Session、水中ロボット競技会および交流会、新発見! 海のせかい教室、海の絵画展			
55	2015 1	海底泥火山の研究から見てきたもの	独立行政法人海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター	技術主任 主任研究員	西尾 嘉朗 井尻 暁
		海洋生物の宏観異常情報による地震予測への取り組み	関西サイエンスフォーラム 大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター	第3専門部会 委員	鍋島 靖信
		2014年 テクノオーシャン・ネットワーク 表彰 有限会社マリン・エコテック 代表取締役 白崎勇一氏 東京大学生産技術研究所 特任准教授 ソーントン・ブレアー氏 韓国海洋科学技術院 名誉研究員 安熙道氏			
		Techno-Ocean 2014 開催報告			
		TON会員募集中!!			
56	2015 4	「海のジパング計画」の目指すもの	SIP次世代海洋資源調査技術「海のジパング計画」 東京大学	プログラムディレクター 名誉教授	浦辺 徹郎
		有人潜水調査船「しんかい6500」就航25周年を迎えて	「しんかい6500」	副司令	佐々木 義高
		点から面に ～連続観測・可視化でわかる水質変動～	環境システム株式会社	代表取締役社長	鮎川 和泰
		TON会員募集中!!			

号	発刊年月	タイトル	筆者(所属)	筆者(部署・役職)	筆者(氏名)	
57	2015	7	海底広域研究船「かいめい」命名・推進式報告	国立研究開発法人海洋研究開発機構 海洋工学センター	センター長	磯崎 芳男
			東京海洋大学の新学部構想について	東京海洋大学	副学長	神田 穰太
			ハロン湾をバイオディーゼル燃料で走る廃棄物運搬船が完成	大阪府立大学大学院	教授	大塚 耕司
			洋上風力発電拡大に貢献するドップラー・ライダーを用いた風況調査 -日本気象株式会社の取り組み-	日本気象株式会社	応用気象グループ	高祖 研一
58	2015	11	ニホンウナギの保全と持続的利用に向けた提言 -国による管理責任の明確化-	中央大学	法学部 助教	海部 健三
			生まれ変わる高知大学の海洋教育研究 ~農学部から農林海洋科学部へ	高知大学	理事・副学長	深見 公雄
			海洋の研究開発に貢献する水中着脱光コネクタ (米国 Teledyne Oil & Gas 社 先端技術の紹介)	株式会社昌新	海洋・宇宙機器営業部	寺田 周一郎
			OCEANS'15 MTS/IEEE Washington 報告	TON OCEANS Japan Pavilion委員会	委員長	小梨 昭一郎
			'15 水中ロボットコンベンション in JAMSTEC 報告	水中ロボコン in JAMSTEC 実行委員会	委員長	近藤 逸人
			テクノオーシャン・ユース 開催報告	テクノオーシャン・ネットワーク事務局		羽東 佑樹
			Techno-Ocean 2016 展示会 出展者募集!!			
59	2016	2	「太平洋クロマグロの持続的利用」は不可能なのか? ~一向に進まぬ資源管理~	Pew Marine Conservation Fellow (Pew海洋保全フェロー) 横浜国立大学	教授	松田 裕之
			「ラストリゾート、海」の時代、日本の使命的な役割	NPO法人宇宙利用を推進する会	技術調査部長	木内 英一
			神戸大学海洋底探査センター ~海底巨大カルデラ火山の全容解明を目指して~	神戸大学海洋底探査センター	センター長	巽 好幸
			海底送水用 波付鋼管がい装ポリエチレン管 WNG ~腐食知らずの長尺(一本物)のポリエチレン製複合パイプが本土と離島をつなぎます~	三井金属エンジニアリング株式会社	パイプ・素材事業部	
60	2016	6	Techno-Ocean 2016 開催に向けて	Techno-Ocean 2016 実行委員会	委員長	大塚 耕司
			OCEANS'16 MTS/IEEE Shanghai 報告	東京大学生産技術研究所 海中観測実装工学研究センター	特任研究員	杉松 治美
			Techno-Ocean 2016 基調講演について			
			海洋調査船「なつしま」「かいよう」の退役	国立研究開発法人海洋研究開発機構 海洋工学センター	運航管理部	大澤 弘敬
			ダム調査ロボットシステムと水中壁面調査技術の開発	株式会社キュー・アイ	技術開発部	豊島 雄樹
			リアルタイム3Dソナー ~Coda Octopus社 Echoscope~	マリメックス・ジャパン株式会社		
61	2016	9	【Techno-Ocean 2016 特集】 主催者挨拶、概要、基調講演、テクニカルセッション、スケジュール、展示会フロアマップ、展示会特別企画、神戸開港150年記念事業プレイベント 船の一般公開、学生ポスターコンペティション、水中ロボット競技会および交流会、一般向け公開講座/新発見!! 海のせかい教室、海のハガキ絵展			
62	2017	1	漁業就業者の若返り	水産庁	企画課	
			海洋鉱物資源開発における海洋生態系変動予測手法とその国際標準化	横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター		吉田 公一
			2016年テクノオーシャン・ネットワーク表彰 東京大学名誉教授 前田久明氏 株式会社NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー 小山靖弘氏 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産工学研究所 研究員 高橋勇樹氏 東京大学生産技術研究所 特任助教 水野勝紀氏			
			Techno-Ocean 2016 開催報告			
			OCEANS'18 MTS/IEEE Kobe/Techno-Ocean 2018 (OTO'18) 開催			
63	2017	4	神戸開港150年について	神戸開港150年記念事業実行委員会		
			神戸開港150年記念事業	神戸開港150年記念事業実行委員会		
			漁業現場でドローン活用へ -ドローンを利用した高効率魚群探索システムの開発について-	一般社団法人海洋水産システム協会 (高効率漁場探索システム開発共同実施機関 代表機関)	研究開発部長	酒井 拓宏
			塩および製塩の研究とその応用 -海水総合研究所の取り組み-	公益財団法人塩事業センター海水総合研究所		
			OCEANS'18 MTS/IEEE Kobe/Techno-Ocean 2018 (OTO'18) 出展者および論文募集について			



号	発刊年月	タイトル	筆者(所属)	筆者(部署・役職)	筆者(氏名)	
64	2017	8	海底探査技術の国際コンペティション “Shell Ocean Discovery XPRIZE”への挑戦 ～共同研究チーム “Team KUROSHIO”の始動～	Team KUROSHIO (国立研究開発法人海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター)		
			東京海洋大学海洋資源環境学部の開設について	東京海洋大学	海洋資源環境学部 学部長	岡安 章夫
			多世代共創による魚庭(なにわ)の海再生の試み	大阪府立大学大学院	人間社会システム科学研究科 教授	大塚 耕司
			無人水上艇 いろいろ ～海洋ロボットが拓く新しい海洋調査の時代～	株式会社東陽テクニカ	海洋計測部	
			OCEANS'18 MTS/IEEE Kobe/Techno-Ocean 2018 (OTO'18) 開催			
65	2017	11	伊号第五十八潜水艦の発見	テクノオーシャン・ネットワーク 一般財団法人ラ・プロンジェ深海工学会 九州工業大学 社会ロボット具現化センター	理事長 代表理事 センター長	浦 環
			世界初の海流発電実海域発電実証試験に成功 ～黒潮を利用した新しい海洋再生可能エネルギー技術の実現に向けて～	株式会社IHI	技術開発本部	長屋 茂樹
			'17 水中ロボットコンベンション in JAMSTEC ～海と日本プロジェクト～ 報告	水中ロボコン in JAMSTEC'17 実行委員会	委員長	清水 悦郎
			OCEANS'17 MTS/IEEE Anchorage 報告	OTO'18 実行委員会	実行委員長	大塚 耕司
			アルゴフロート用溶存酸素センサー RINKO® FT	JFEアドバンテック株式会社	海洋・河川事業部 技術部長	加藤 宏晴
			OCEANS'18 MTS/IEEE Kobe/Techno-Ocean 2018 (OTO'18) 開催に向けて	OCEANS'18 MTS/IEEE Kobe/Techno-Ocean 2018 (OTO'18) 実行委員会	実行委員長 実行委員長	浅田 昭 大塚 耕司
66	2018	3	「OCEANS'18 MTS/IEEE Kobe/Techno-Ocean 2018 (OTO'18)」開催概要			
			資源評価の現状と資源評価の方向性	水産庁	漁場資源課	
			世界で初めて海底熱水鉱床の連続揚鉱に成功しました ー沖縄近海で海底熱水鉱床の採鉱・揚鉱パイロット試験を実施ー	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	金属資源技術部	
			OTO'18 展示会ガイドブックの広告掲載募集について			
			第3期海洋基本計画について	内閣府	総合海洋政策推進事務局	
			水中協働ロボットへの期待 ー水中ドローンの最新トピックと当社の水中音響装置開発のご紹介ー	株式会社SIX VOICE	代表取締役	土生 修平
67	2018	8	2018年テクノオーシャン・ネットワーク表彰 東京大学名誉教授 浦辺徹郎氏 東海大学名誉教授 酒匂敏次氏 東京大学生産技術研究所 特任助教 高橋朋子氏			
			経団連海洋開発推進委員会が産学官関係者の連携強化に向け特別会合を開催	一般社団法人日本経済団体連合会	産業技術本部	
			OCEANS'18 MTS/IEEE Kobe/Techno-Ocean 2018 開催報告			
			SIP 第2期 革新的深海資源調査技術について	内閣府	戦略的イノベーション創造プログラム 革新的深海資源調査技術 プログラムディレクター	石井 正一
68	2018	12	水中ドローンと呼ばれる時代になって	東京海洋大学学術研究院	教授	近藤 逸人
			水産業とICT	公立はこだて未来大学 マリンIT・ラボ	教授 所長	和田 雅昭
			テクノオーシャン・ユース 開催報告	テクノオーシャン・ネットワーク事務局		
			科学ベースの水産資源管理へ ～漁業法改正のポイント～	みなと新聞	記者	太田 毅人
69	2019	2	海洋深層水利用学会 日台韓3学会交流協定の締結について	海洋深層水利用学会 大阪府立大学	副会長 教授	大塚 耕司
			物流・港湾管理の今後の見通し ～アジア物流フォーラムの講演から～	神戸市	みなと総局 みなと振興部 振興課	
			経団連海洋開発推進委員会第2回特別会合にて OCEANS2018 視察団報告	テクノオーシャン・ネットワーク事務局		
			長崎県五島市の漁業と水素エネルギープロジェクト	国立研究開発法人水産研究・教育機構	理事長	宮原 正典
70	2019	4	Team KUROSHIO 「Shell Ocean Discovery XPRIZE」の軌跡	Team KUROSHIO (国立研究開発法人海洋研究開発機構 イノベーション・事業推進部 イノベーション推進課)		杉山 真人 安蒜 孝政
			海と産業革新コンベンション(うみコン2019) 開催報告	海と産業革新コンベンション実行委員会 (横浜市政策局政策課)		
			新会員紹介・株式会社三ツ星 ～海洋関連事業への挑戦～	株式会社三ツ星	電線事業部 技術部長	磯嶋 良人

号	発刊年月	タイトル	筆者(所属)	筆者(部署・役職)	筆者(氏名)
71	2019 7	G20を終えて ～海洋マイクロプラスチックについて	九州大学応用力学研究所	教授	磯辺 篤彦
		水中音響機器の開発と将来展望	株式会社アクアサウンド 東京海洋大学	代表取締役会長 客員研究員・水産学博士	笹倉 豊喜
72	2019 10	第3回ふね遺産の認定について	関西設計株式会社 日本船舶海洋工学会 ふね遺産認定実行委員会	顧問 委員長	小嶋 良一
		深海の環境影響を評価するための乱流観測	国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球環境部門 海洋生物環境影響研究センター	海洋環境影響評価研究グループ グループリーダー 代理	古島 靖夫
73	2020 1	HATTORI ～低コストだが使えるAUVを目指して	東京大学生産技術研究所	准教授	巻 俊宏
		地元企業の海洋開発事業への挑戦 ～海洋技術の先端都市「KOBE」の実現に向けて～	日本海工株式会社	事業開発部長	宮本 一之
		Techno-Ocean 2020 展示会出展者募集のご案内	TON事務局		
74	2020 4	伊豆諸島式根島周辺海域のCO <sub>2</sub> 噴出域における海洋酸性化研究	筑波大学下田臨海実験センター	助教	和田 茂樹
		「Techno-Ocean 2020」開催について	Techno-Ocean 2020 実行委員会	実行委員長 (大阪大学大学院 工学研究科 教授)	飯島 一博
		「Techno-Ocean 2020」開催概要			
75	2020 7	月が導く深海の流れ ー地球を巡る深層海洋循環の謎への挑戦ー	東京大学大学院	理学系研究科 教授	日比谷 紀之
		ROV・AUVによる湖底遺跡調査	立命館大学	教授	熊谷道夫
			立命館大学	教授	矢野 健一
			国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所	海洋先端技術系水中ロボティクス研究グループ グループ長	篠野 雅彦
	同時配信	神戸大学「海神プロジェクト」パンフレット	神戸大学	企画部企画課企画評価グループ (勤務命)海洋政策科学部設置準備室	長塚 卓也
76	2020 10	「海の神戸大学」をめざす「海神プロジェクト」について	神戸大学 ブランディングアドバイザー	(株式会社オーケイブランド 代表取締役)	岡田 一雄
		コロナによる水産業界の影響	総合地球環境学研究所	自然資源管理分野 上級研究員	田村 典江
	同時配信	「Techno-Ocean 2021」開催日について	TON事務局		
77	2021 2	海洋深層水を利用した持続可能な地域づくり計画(久米島)	一般社団法人国際海洋資源エネルギー理湯活用推進コンソーシアム		岡村 盡
		日本近海の海洋環境と三陸沖に水揚げされた魚種の変化	一般社団法人漁業情報サービスセンター	水産情報部 技師	藤井 粽子
78	2021 4	JAMSTEC創立50周年～これまで、これから～	国立研究開発法人海洋研究開発機構	海洋科学技術戦略部 部長	豊福 高志
		水産研究・教育機構の組織再編	国立研究開発法人海洋研究開発機構	総務部 部長	大嶋 真司
			国立研究開発法人水産研究・教育機構	経営企画部 広報課 広報コーディネーター	角埜 彰
	同時配信	「Techno-Ocean 2021」展示会案内について	TON事務局		
79	2021 7	東京海洋大学練習船「汐路丸」IV世について	東京海洋大学	学術研究院 海事システム工学部門 教授	竹本 孝弘
		Techno-Ocean 2021 実行委員長メッセージ	Techno-Ocean 2021実行委員会 (大阪大学 工学研究所 教授)	実行委員長	飯島 一博
		Techno-Ocean 2021 展示会について	Techno-Ocean 2021実行委員会		
	同時配信	「Techno-Ocean 2021」展示会案内について	TON事務局		
80	2021 12	Techno-Ocean 2021 特集			
		主催者挨拶	TON会長		山内 隆司
			TO2021実行委員会 委員長		飯島 一博
	同時配信	Techno-Ocean 2021 特集			
81	2022 4	Techno-Ocean 2021 開催報告	Techno-Ocean 2021実行委員会		
		Techno-Ocean 2021パネルセッションを終えて	Techno-Ocean 2021実行委員会		
		2021年テクノオーション・ネットワーク表彰	TON事務局		
82	2022 7	駿河湾から発信する人新世の海洋リベラルアーツ	東海大学海洋研究所	所長・教授	平 朝彦
		大阪公立大学の概要と海洋関連研究体制について	大阪公立大学 大学院現代システム科学研究科	教授	大塚 耕司
83	2022 12	退任ごあいさつ	テクノオーション・ネットワーク	前会長	山内 隆司
		就任ごあいさつ	テクノオーション・ネットワーク	新会長	満岡 次郎

号	発刊年月	タイトル	筆者(所属)	筆者(部署・役職)	筆者(氏名)
		アメリカの潜水艦「アルバコア」を探し出しました	一般社団法人ラ・プロンジェ深海工学会	代表理事	浦 環
		2022年度テクノオーシャン・ネットワーク定期総会開催報告	TON事務局		
		2022年度テクノオーシャン・ネットワーク青少年啓発事業「海塾」開催報告	TON事務局		
		Techno-Ocean 2023展示会出展者募集のご案内	TON事務局		
84	2023	2	株式会社三ツ星	株式会社三ツ星技術開発センター	
		液体水素運搬船“すいそ ふろんていあ”の開発と将来展望	川崎重工業株式会社	液果水素運搬船開発部 特別主席	村岸 治
85	2023	5	戦略的イノベーション創造プログラム	革新的深海資源調査技術 プログラムディレクター	石井 正一
		SIP 第2期5年間の設定目標に対する達成度について	テクノオーシャンネットワーク	理事長	浦 環
		Joseph R. Vadus 氏を悼んで	TON事務局		
		「海塾」開催報告	TON事務局		
		Techno-Ocean2023 展示会出展者募集	TON事務局		